

日本骨髄バンクの現状（2024年1月末現在）

※数値は速報値のため訂正する場合があります。

登録者数	12月	1月	現在数	累計数
ドナー	3,121	3,072	553,446	953,888
患者	200	183	1,658	68,205

<年代別ドナー登録者現在数>

<1月区分別ドナー登録者数>

約42%

10代	4,360 人	*うち1月新規登録者は272人
20代	92,483 人	
30代	136,095 人	
40代	214,511 人	
50代	105,997 人	

献血ルーム	1,013 人
献血併行型集団登録会	2,006 人
集団登録会	1 人
その他	52 人

採取数	12月	1月	累計数
骨髄	55	55	26,228
末梢血幹細胞	24	25	2,062
合計	79	80	28,290

2023年8月号から海外採取は含まず、国内の採取のみを掲載しています。

1. 読売巨人軍が春季キャンプで骨髄バンク支援 宮崎・沖縄でドナー登録会開催

2月4日(日)、読売巨人軍の宮崎キャンプ・ひなた宮崎県総合運動公園「ひなたサンマリスタジアム宮崎」で、骨髄バンクのPRとドナー登録会を行いました。3年ぶりとなった昨年に続いての開催で、準備から当日まで、読売巨人軍様、宮崎県庁ならびに地元宮崎のボランティアの皆様にご協力いただきました。

前日からの雨天の影響で急遽変更が生じましたが、読売巨人軍様の迅速なご協力により、「ひなたサンマリスタジアム宮崎」のイベント会場でのPR実施やブース出展、屋内練習場「ひなた木の花ドーム」周辺での呼びかけ等を実施することができました。PRでは福岡県の移植経験者・福山史子さんが体験を語り、ジャビット君やバンクの職員と共にドナー登録を呼びかけました。



今回の登録会は「スワブによるオンラインドナー登録」(*)のトライアルだったため、現場では特設サイトにアクセスできるQRコードを掲載したチラシを配布し、登録希望者の方には、特設サイトと動画を視聴頂いた上で登録用のスワブキットを申し込んで頂きました。この結果、10名の方が登録のためのスワブキットをお申し込みくださいました。対象者の方には順次、スワブキットを発送する予定です。ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました！ ※詳細は続く記事をご覧ください。

2月18日(日)は、那覇キャンプ・奥武山総合運動場「沖縄セルラースタジアム那覇」で、献血併行型ドナー登録会を実施予定です。沖縄の皆様、引き続きどうぞ、よろしくお願い申し上げます。

2. 「スワブによるオンラインドナー登録」のトライアルを開始！

日本骨髄バンクは2月4日(日)より、スワブ検体によるHLA検査とオンラインによるドナー登録システムを導入すべく、ドナー登録希望者に対しトライアルを開始しました。本トライアルは、ドナー登録に「スワブによるオンライン登録」を採用するもので本邦初となります。

「スワブ」とは、先端がざらざらしている綿棒状の用具で、口の中(頬の内側や舌の裏側)をこすることで、口腔粘膜の組織をHLA検査用の検体として痛み無く採取できます。日本では、血縁間での移植時のHLA検査等にスワブを使用しています。採血が不要のため針を刺したり、登録希望者が採血場所に出向く必要がありません。若年層に親和性の高いスマホ等を使用したオンライン登録と組み合わせると利便性が高まり、献血会場を訪れることが難しい方にも登録機会を提供することができるようになります。更に、スワブ検体でのHLA検査方法は、従来よりも高い精度でドナーのHLA型が分かるため、適合検索をする際に患者側にもメリットがあります。

「スワブによるオンラインドナー登録」は海外の主要バンクでは既に導入されており、若年ドナー獲得に効果を上げています。

日本骨髄バンクでは2017年よりスワブ導入に向けた情報収集を実施しており、2022年より厚生労働省、日本赤十字社、日本造血・免疫細胞療法学会と検討委員会を立ち上げ、導入に向けた議論を続けて参りました。本トライアルでは2024年度上半期をめどに200検体のHLA検査実施を目指します。

現在、移植を希望する患者さんの約半数しか移植が受けられておらず、さらに今後5年以内に10万人以上が年齢を理由に登録取消しとなり、ドナープール縮小が懸念されています。ドナープール縮小を回避するためには、30代以下の新規ドナー登録者が年間3万人必要との試算があり、これまで全国の関係者の皆様のご協力の下、若年層の新規ドナー登録を推進して参りました。日本骨髄バンクはこうした従来の採血によるドナー登録に加え、「スワブによるオンラインドナー登録」を導入することで、30代以下の新規ドナー登録者確保を着実に達成したいと考えております。

3. ドナー休暇制度導入、813企業・団体に

就業ドナーの方にとって提供しやすい環境を整備するため、「ドナー休暇制度」の導入を全国の企業や団体へ呼びかけております。このほど京浜急行電鉄様に大手私鉄として初めて導入いただきました。現在813の企業や団体、大学等が導入しています(当法人把握分、2024年2月15日現在)。

■導入リスト

www.jmdp.or.jp/pdf/donation/donorsupport/donorleave/donorleave_02.pdf

既に制度を導入・運用(名称は任意)していて上記リストに未掲載の場合は、下記までご一報ください。申請に必要な「導入連絡書」(エクセルファイル)は下記に掲載しております。適宜ダウンロードしてご利用ください。

www.jmdp.or.jp/donation/donorsupport/donorleave.html

◇照会先 広報渉外部 ドナー休暇制度担当 03-5280-1789(平日9時~17時30分)

4. ドナー公欠制度導入、13大学に

学生ドナーの方が造血幹細胞を提供するにあたり、入通院による欠席を「公欠」と認めるのが「ドナー公欠制度」です。学生向けの「ドナー休暇制度」で、全国で13の大学が導入しています。下記URLに導入大学リストを掲載しております(当法人把握分)。同制度を導入済みでリストに未掲載の場合は下記担当までご一報ください。

www.jmdp.or.jp/donation/donorsupport/studentleave.html

◇問い合わせ先 広報渉外部 ドナー公欠制度担当 03-5280-1789(平日9時~17時30分)

5. 「チャンス」2024年度版発行のご案内【再掲】

ドナー登録のしおり「チャンス」2024年度版を4月1日に発行します。ご希望の方は広報資材請求フォーム(下記URL)から、備考欄に必ず「2024年度版チャンス我希望」と明記の上お申込みください。基本梱包は1箱200部で、2月7日までのお申込み分は3月中旬以降、それ以降のお申込み分については4月以降に順次発送します。現在お使いの2023年度版は3月末をもって廃棄をお願いいたします。

<https://www.jmdp.or.jp/volunteer/goods/>